キャラクター名
十一　沙褪（といち　さざめ）

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン エンジェルハィロゥ	ワークス	FHセルリーダーC	カヴァー	「廻天」オーナー
オプショナル	オルクス	年齢	23	性別	女
覚醒	命令	衝動	闘争	初期侵食率	33 %
出自	天涯孤独	経験	奸計	邂逅	闘争

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1		0			1
感覚	4		0			4
精神	2	1	1			4
社会	1		0			1

HP	26
行動値	15
(非装備時)	15
戦闘移動	20
全力移動	40

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	6		交渉		
回避		3	知覚			意志	1		調達	6	
運転：			芸術：ｶﾎﾟｳﾗﾝ(ﾍﾙﾉﾅﾗｯﾌﾟ)感覚	5		知識：妖精,[AIDA],判定ﾀﾞｲｽ+3個	2		情報：ｴﾝﾊﾞﾝ,組織,ｴｺｰﾈｯﾄ,組織,組織,ﾍﾙﾉﾅ	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
FHインターセプター		8			

合計装甲：	8	合計回避：	0

所持品	
AIDA(HRp.93)	
エンブレム：ペルソナショップ(UGp.38)	
FHインターセプター(HRp.92)	
コネ：FH幹部	
コネ：要人への貸し	
コネ：手配師	
ウェポンケース	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
装着者(LMp.87)/AIDA(HRp.93)取得	P	N		
元上官	P 好奇心	N 敵愾心		
"ヴァイパーナム"阿蘇野七生（あそのななお）	P 好意	N 劣等感		
点烙セル	P 親近感	N 食傷		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 14	残り財産P： 5

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
ｺﾝｾ:ｴﾝﾊｲ	2	2	ﾒｼﾞｬｰ			ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ		
効果：								
要の陣形	2	3	ﾒｼﾞｬｰ	-	3体	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ	-	
効果：対象3体に変更,ｼﾅﾘｵLv回								
縛鎖の空間	2	3	ﾒｼﾞｬｰ	視界	単体	RC	-	
効果：射攻,命中で重圧・放心付与,ｼﾅﾘｵLv回								
振動球	1	3	ﾒｼﾞｬｰ	視界	-	RC	-	
効果：射攻,攻撃力+Lv,装甲無視								
絶対の孤独	2	3	ﾒｼﾞｬｰ	視界	単体	RC	-	
効果：射攻,命中でR間全判定ﾀﾞｲｽ-[Lv+1]個								
猟犬の鼻	1	-	ﾒｼﾞｬｰ	至近	自身	自動	-	
効果：								
風の支配者	1	-	ﾒｼﾞｬｰ	視界	範囲(選択)	自動	-	
効果：落ち葉を隣のテナントの敷地に吹き飛ばす								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

「点烙（てんらく）セル」セルリーダーの23歳女性。
CNは教官にベンガルボダイジュを由来として命名された。絞め殺してる感じの戦闘スタイル＆生に伴う不可避の苦難と死の意味合いが強い。
かつての任務にて同行していた上官の策略により武功をかすめ取られ、その復讐に励んだことをきっかけに自らより上位にいる者を失墜させることに執着するようになる。
表向きそれは野心のようにも見えるが、実際のところ自分が地位を奪取することにはあまり関心がなく、あくまで立場あるものを追い落とす戦いに身を投じ続けることを欲望としている。

セルは表向き昭和感漂う喫茶店「廻天」を営んでいる。店名は「点烙」のもじりである「転落」の対義語「廻天」から。「廻天が開店した」というギャグを言った者はその日のレジ締め作業を行わなくてはならないという決まりがある。
コードウェル博士派・反コードウェル博士派の抗争については正直どうでもいい＆所属エージェントに政治に強い奴がほぼいないので、セルとしては距離をとる方針を打ち出している。
来る者拒まず去る者追わず、必要以上の勧誘もしなければ引き留めも行わない少数精鋭体制をとっている一方、血の気の多いエージェントが裏切り者の始末にかかろうとする際も笑って黙認する全面的放任主義。

阿蘇野七生は当面利害対立しそうもない軽口を叩ける仲のよい友人だと思っているが、彼女がここのところレネゲイド研究において成果をあげ始めているため無意識に劣等感を抱き始めている。

「寤寐思服のルドベキア」　PC③